

もつと勉強すればよかった、

小島ノリさん（香川同郷）は、余暇に何かすれば生活に張りが出てと話しします。



北部地区公民館が出来てから60年、いろいろな講座が開かれ、私は三年前から園芸講座を受講しています。月一回日曜日です。ムリをしなくても受けられます。先生のお話もとてもおもしろくて。今年から庭にトマトやキュウリを植えてみました。時間を見つけて何かするというのは生活に張りが出ますし、とても楽しいですね。

テニスには仕事のためにもなればと高橋さん（左）、野球で友達つきあいをと高橋さん。



実はスポーツ店に勤めたもので、去年からスキーとテニスを始めました。自分ができなければ仕事になりません。ですから、実益と趣味を兼ねられればいいんですけどね。（高橋徹さん・大野・21歳）

テニスのほか黒崎中の同級生でモッコリズという野球チームを作っています。友達つきあいができます。（高橋勝成さん 21歳・鳥原）

乙川津江子さん（鳥原新郷・38歳）は、生活のために知識を得て損はないと言います。



生涯教育とか社会教育とかおおげさなものではないんですが、一生勉強というのは当然だと思っています。世の中はどんどん変化しています。私が気をつけているのは食事です。食品添加物など。特に白砂糖は子供から集中力を奪ってしまふといわれています。実際うちの子もそうでした。生活のために知識を得て損はないと思います。

1988

7

No. 298

くろさき

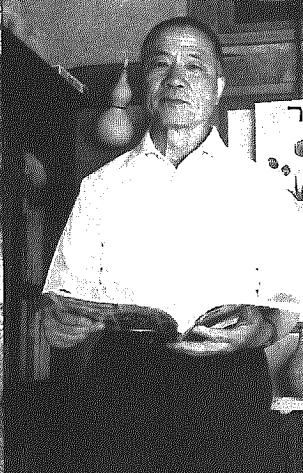
あなたと町をつなぐ

報 告

と言う前に

特集／生涯教育

仕事を退き、文化のはしに触れている。山原藤吉さん（木場・67歳・文化保護審査委員）



古美術や民具に関心を持っていました。特に実際の生活に用いられた工芸品は美しい。やはり、長い時間に耐えたものは価値があります。新技術の開発だけでなく古い技術の伝承も大切でしょう。木場の「麦まき」という狂言が再現できないか。仕事の第一線から退いた後、文化のはしっこに触れているところです。町の文化財も見てください。

蜀鶏保存会会員の永井満さん（宋地）は全国日本鶏大会で農林水産大臣賞を受賞。



鶏のよしあしは血筋と飼育です。まずヒナと卵のいいの手に入れます。そして飼育。どちらも大事です。蜀鶏日本鶏保存会に入って、会員の皆さんと保存・研さんに努めています。今回の受賞も皆さんとの研さんのおかげ。来年は表彰で全国展示会があるので、今回の受賞が保存会の皆さんの励みになれば、と思っています。

子供が丸が月、いまは母親になる勉強をしなくてはと清水登志子さん（興野・24歳）。



初子（美奈保ちゃん・丸が月）なんです。育児に追われています。いまは何より母親になる勉強をしなければなりません。教育と聞くと、管理と思ってしまう。この子には自分から進んでどんどんやる子になってほしいんです。でも、教育費って何千万円もかかるんです。心配です。私自身です。いいお母さんになること。